

同意書

私は、「財団法人訪問リハビリテーション振興財団 事例調査研究」の実施に際し、以下の項目につき十分説明を受け、その趣旨を理解いたしました。また、①いつでも同意を撤回できること、②そのことにより今後なんら不利益を受けることはないこと、③プライバシーの保護について配慮されていることを確認しましたので、自らの自由意志により本研究に協力し、参加することに同意します。

- 研究への協力の任意性と撤回の自由
- 研究の目的と方法
- 予想される効果および副作用
- 期間
- 費用負担に関する事項
- プライバシーの保護

■同意者（本人）：

同意日：平成 年 月 日

氏名（署名）_____

■同意者（代諾者）：

同意日：平成 年 月 日 本人との続柄（ ）

氏名（署名）_____

■説明者：

説明日：平成 年 月 日 職名（ ）

氏名（署名）_____

※本紙を2枚作成（コピー可）後、割印を施し、事例提供者・事例担当者、財団法人訪問リハビリテーション振興財団事務局の三者が保管する。

同意書の説明内容

1、事例調査研究の目的

リハビリテーション専門職に求められている「活動・参加」の具体的アプローチを知ること、より多くの「活動・参加」に資するアプローチ事例が生み出され、より多くの対象者に活力ある生活を提供することを目的とする。

2、事例調査研究の方法

全国で同様に事例を収集する。収集した事例は財団法人訪問リハビリテーション振興財団研修班にて分析し、事例集を作成する。

3、調査研究結果の利用方法

結果と事例集はリハ3団体の都道府県士会長およびリーダー、リハ3団体役員、厚生労働省担当部署、訪問リハビリテーションに関わる諸団体に提供する。

4、人権擁護と個人情報の保護について

事例の分析、事例集作成の際には個人を特定できる項目は「匿名化」し、対象者の人権擁護と個人情報の保護について最善の注意を払う。

5、研究への協力の任意性と撤回の自由

本依頼への協力は任意であり、拒否により対象者への不利益は生じないことである。また後日、データの削除を申し付けられた場合も速やかにデータの削除を行い、同様に対象者への不利益は生じないことを伝える。

6、研究協力の期間について

事例としてまとめるためには、これまでの記録をもとに記載を行う場合もあれば、今後数か月を費やして記録を行う場合が考えられる。各事例に対して必要な期間を対象者には説明を行う。

7、費用負担に関する事項

本活動に協力をいただくにあたり、対象者には費用の負担を課さないこととする。

8、同意書の取り扱いについて

同意書は2通作成、割印を施し、事例提供者と事例担当者が保管をする。また、一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団事務局は写しを保管する。